

平成 30 年度事業報告について

1. 特別養護老人ホームたくま荘増築改修工事について

特別養護老人ホームたくま荘は、平成 2 年に新館部分を増築し、旧館の改修を平成 9 年 3 月に実施していたが、新館では約 30 年、旧館の改修から 27 年経過し、床、壁、天井等痛みが目立ってきたことと多床室の個室化（プライバシー保護のため）を目的として平成 29 年 11 月 1 日から増築改修工事を実施し、当初は平成 30 年 10 月末竣工の予定だったが基礎工事の段階で想定以上の岩盤があって床掘に時間がかかり、工期延長して平成 30 年 12 月 28 日ようやく竣工の運びとなった。

工事契約金額は、変更契約金額 549,815,040 円で、内訳は三豊市補助金 52,500,000 円、自己財源 497,315,040 円である。

契約先は、富士・神託特定建設工事共同企業体

代表者 富士建設株式会社 代表取締役 真鍋 有紀子

であった。

また、たくま荘の床面積は、377.34㎡の増の 2840.99㎡となった。

これにより、特別養護老人ホーム 80 床については、プライバシー保護のため準個室化となり、また、従来トイレの個数が少なかったがトイレを増設しお部屋にもベッドサイトトイレ 32 台を設置し、入所者さまの便宜を図るとともに、お部屋の臭いの改善、入所者介助について職員の負担軽減を図った。

2. たくま荘デイサービスセンターのトイレ改修について

地域交流センターのトイレに関しては大便器が和式仕様であったので洋式便器に変更するとともに、トイレの床をタイル張りから塩ビシートに代え清掃を容易にし、常に清潔感が保てるようにした。

また、障害者用トイレも特別養護老人ホームたくま荘のトイレと同様の仕様にし、背もたれやはねあげ式手すり等も設置し利用者の安全を図った。

契約金額は 4,968,000 円（税込）で受注業者はたくま荘増築改修工事の契約先である富士・神託特定建設工事共同企業体であった。

デイサービスセンター内のトイレの改修も検討したが、排水の関係で思うような改修が難しく今後の課題として見送ることにした。

3. 社会福祉法人詫間福祉会の所有する公用車にドライブレコーダーを設置することについて

昨今多発する交通事故状況を鑑みると、デイサービス等の送迎中の事故が報じられることも多々あり、万が一のための有効な対策にするとともに、運転する職員への注意喚起にも資すると考え、車載のドライブレコーダーを設置した。

職員のみ乗車する車については前方用カメラのみとし、送迎用の車には前方と車内が映るカメラを設置した。

設置費用は合計600,000円、内訳は前方用カメラ1基25,000円で10台設置、前後撮影用カメラ1基35,000円で10台設置した。

4. 株式会社タクマテックとの土地の境界と駐車場用地との等積交換について

当法人と隣接する株式会社タクマテックとの敷地境界については、特別養護老人ホームたくま荘新館増築時に浄化槽の設置場所等のために株式会社タクマテックの敷地を借り受けているため、この際たくま荘の駐車場用地と現在借り受けている株式会社タクマテックとの土地の等積交換をして、境界を確定する予定で共同設計株式会社に調査、測量等を依頼したが、昭和40年代後半に当時の詫間町が実施した地籍調査の14条地図といわゆる旧公図との齟齬がはなはだしいことが判明した。

旧公図に則って地図訂正を行う必要があるが、たくま荘と株式会社タクマテックのみならず隣接する安藤多吉さまの土地までも安藤様の同意を得て訂正しないといけない。現況では見当たらない水路等も復元する必要があり、費用面でもかなり高額な費用がかかることになる。よってこの等積交換は当面の間見合わせることにしたい。

5. 部署別事業計画

特別養護老人ホームたくま荘

(1) 年間入所率97%を目標とする。→91.00% (29年度実績 94.38%)

(2) 改修工事期間中の事故防止 →工事にかかわる事故件数はゼロ

地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘

(1) 年間入居率95%以上 →93.92% (29年度実績 94.83%)

ショートステイ利用率90% →88.60% (29年度実績 89.00%)

(2) 同じ利用者の同じ案件の介護事故を減らす。

たくま荘デイサービスセンター

(1) 年間平均30名以上(1日当り)の利用者の確保→26.35人(29年度実績 27.79人)

(2) 安全なサービスの提供

大浜デイサービスセンター

(1) 年間平均21.5名以上(1日あたり)の利用者の確保

→21.29人(29年度実績20.98人)

(2) 車両事故、介護事故の予防

ケアハウスたくま

(1) 平均入居率49人の利用者の確保→47.3人(29年度実績47.8人)

(2) 入居者の体調管理の徹底

居宅介護支援事業所たくま荘

(1) 毎月の利用者総数目標220名→190.25名(29年度実績187.67名)

訪問介護ステーション

(1) 1月の利用件数目標260件→239件(29年度実績248.7件)

(2) ケアマネージャー・ケアハウス職員との連携を密にする。

厨房

(1) 災害時・食中毒時の厨房の対応マニュアルの作成、配布

6. 介護職員の能力向上について

介護職員の能力向上を目指して部署ごとに計画した研修計画に基づき月1回の職場研修を実施した。

4月 介護スタッフのための接遇マナーについて

接遇マナーインストラクター石川久美子

5月 虐待防止の取り組み・尊厳のケアに向けて 志度玉浦園生活相談員 赤木真二

6月 新しい救急蘇生法 三豊広域第3分署

7月 褥瘡予防対策 介護労働センター 丸山由香利

8月 認知症ケア研修 認知症介護指導者 川瀬 賢大

9月 身体拘束について たくま荘生活相談員 真鍋 裕子

10月 感染症予防対策 介護労働センター指導員

11月 身体拘束廃止に向けて 志度玉浦園生活相談員 赤木真二

12月 事故防止のためのリスクマネジメント 社会保険労務士 高橋由里香

2月 個人情報保護法とは 社会保険労務士 高橋由理香

3月 事業所におけるコンプライアンスについて 社会保険労務士 高橋由理香